

会 議 録

会議名	第3回松本地域公共交通会議・第3回松本地域公共交通協議会
日 時	令和4年12月23日（金） 10時30分から12時まで
場 所	松本市勤労者福祉センター 2-1会議室
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会議事項 《公開》</p> <p>(1) 松本地域公共交通会議</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第1号】まつもと公設民営バスの再編ルート等について</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第2号】地域バス「波田循環バス」の一路線廃線及び増便による運行ダイヤの改正について</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第3号】山形村広丘駅直行バスの運行について</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第4号】くるりん号の接続ポイント追加について</p> <p>(2) 松本地域公共交通協議会</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第1号】地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について</p> <p style="padding-left: 2em;">【報告事項】まつもと公設民営バスのロゴマークと愛称について</p> <p>《非公開》</p> <p style="padding-left: 2em;">【議案第2号】交通決済キャッシュレス化事業の進め方について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
資 料	<p>1 次第</p> <p>2 会議資料</p>

出席者 (敬称略)	【会長】	高瀬 達夫	(信州大学工学部)
	【副会長】	春日 孝介	(松本市町会連合会)
	【委員】	関口 広喜	(国土交通省関東地方整備局長野国道事務所) <リモート>
		玉巻 史成	(国土交通省北陸信越運輸局)
		高澤 陽	(国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局) <リモート>
		石坂 公明	(長野県企画振興部交通政策課) (代理：中川)
		飯田 史晴	(松本地域振興局企画振興課) <リモート>
		山岸 久美子	(松本警察署交通第二課) (代理：荻原)
		伊藤 亮二	(松本商工会議所)
		園田 弘世	(東日本旅客鉄道株式会社長野支社) <リモート>
		二條 宏昭	(アルピコ交通株式会社) (同行：藤本)
		伊藤 篤	(松本地区タクシー協議会) (代理：奥原)
		大内 清彦	(アルピコ労働組合松本電気鉄道支部)
		荻原 健司	(松本地区ハイタク労働組合会議)
		高木 守	(松本市PTA連合会)
		新居 禎三	(山形村部会)
		藤沢 洋史	(山形村) (同行：山本)
		清沢 さおり	(朝日村)
		田原 茂	(松本市)
		(欠席者4名)	
【事務局】	松本市 交通部	公共交通課 交通ネットワーク課	

1 松本地域公共交通会議

《公開》

(1) 協議事項

ア 議案第1号 まつもと公設民営バスの再編ルート等について

- 事務局：資料に基づき説明
- 委員：コミュニティバス〇〇線にする必要があるのか。
- 事務局：現在の名称を残した方が市民にとってわかりやすいと考えた。
- 委員：コミュニティバス〇〇線なのか、それとも〇〇コミュニティバスなのか。コミュニティバスを前に持つてくることになにかこだわりがあるのか。
- 事務局：こだわりは特にない。ご意見をいただきながら決めていきたい。
- 委員：地域の方がわかりやすいのが一番。各線名称がバラバラでも困る。
- 事務局：統一を図って整理していきたい。
- 委員：コミュニティバスの ABCD のアルファベットはなくなるのか。
- 事務局：地名の方がわかりやすいと考え現在の案になっているが、アルファベット+地名の案もあるため、ご意見いただきながら進めていきたい。
- 委員：路線名に地名が入ると、統廃合の際にその都度名称が変わるのでは。そのあたりも検討した方がよいのでは。

<了承>

イ 議案第2号 地域バス「波田循環バス」の一路線廃線及び増便による運行ダイヤの改正について

- 事務局：資料に基づき説明
- <質問、意見がなく了承>

ウ 議案第3号 山形村広丘駅直行バスの運行について

- 山形村：資料に基づき説明
- 委員：①1日1便しか走らないということだが、利用人数の見込みはどのくらいか。②帰りは保護者が送迎するという想定か。
- 山形村：①公共交通について検討する会議において、委員から朝だけでも走らせてほしいという意見が多かったこと。また以前に行った高校通学バスの取組みにおいても、帰りの便が課題であった（利用時間にばらつきがあるため）ことから、今回朝の1便として設定した。詳しい数字は今手元にないが、中高生及びその保護者に向けたアンケート調査では、7割が利用したいという結果
②帰りは保護者が送迎していただくことに加え、路線の見直しにより山形線が増便となるため、様々な公共交通を選択してもらい山形村から通ってほしい。山形村では高校生に対して、バスの回数券補助など行っているため、あわせて利用してもらいたい。
- 委員：中高生の7割が使いたいとなると、逆に1便では賄いきれないのでは。
- 山形村：実際に使う人は単純計算では測れない。（アンケートでいるかと聞

議 事

かれたら多くの人がいると答えるため) まずは部活動に参加している生徒ではなく、一般の生徒が利用する時間帯で1便という形で始めたい。

- 委員：乗り残しの対応など仕組みを考えてほしい。
- 山形村：今回新たに始める取組みであるため、住民の声を聞きながら進めていきたい。
- 事務局：沿線の松本市民からも利用したいという意見があった。今後利用の可能性が広がっていくようであれば一緒に協議をさせていただきたい。

<了承>

エ 議案第4号 くるりん号の接続ポイント追加について

- 朝日村：資料に基づき説明
<質問、意見がなく了承>

2 松本地域公共交通協議会

(1) 協議事項

ア 議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

- 事務局：本案件について、本来であれば朝日村の「朝日村村営バス広丘線」及び「くるりん号」も含めなければならなかったが、調整不足により現在資料に含まれていない。よって本案件は、後日改めて書面にて協議をお願いすることとしたい。
- 委員：今回資料にない2路線以外については、内容を説明してもよいのでは。
- 事務局：資料に基づき説明
- 委員：趣旨はPDCAサイクル。結果の原因を分析したうえで適切に事業を実施したが、目標に到達していないのであれば、その原因を分析・反映してもらえれば。松本地域公共交通計画内において、補助対象路線に対する目標値（利用者数、収支率、公的負担額）を掲げているが、目的・効果達成率はそちらに合わせる必要があるのではないか。
- 委員：設定する数値は単なる利用者数にするのではなく、1便当たりの利用者数など、細かい指標で評価しないと解決にはつながらないのでは。補助対象路線に対する目標値が定められているということなので、それに従えば大丈夫だと思うが。

<了承>

(2) 報告事項

まつもと公設民営バスのロゴマークと愛称について

- 事務局：資料に基づき説明
<質問、意見がなく了承>

以上